



学校教育目標:ふるさと山内を誇りに思う東っ子の育成』

◆山内東小の約束:『自分がされていやなことは 人(友だち)にしない 言わない』

◆山内東小学校は「立腰教育-あいさつ・返事・はきものそろえ」で頑張っています。

## 保護者の皆様 お子様のご卒業おめでとうございます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校が3日から24日まで臨時休業となったため、練習が何もできずぶっつけ本番の卒業式となりました。学校として卒業式だけは開催したいとの思いがあり、時間短縮、規模縮小という卒業式とはなりましたが、卒業生の晴れの門出をお祝いできて本当によかったと思っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。瞬く間の6年間だったことでしょうか。お子様の成長とともに、どうしたらよいか悩まれたことも多々あったことと思いますが、ご家庭でいつも温かく見守り、慈しみ育ててくださったお陰で、子どもたちは、本当に逞しく成長しました。改めて、これまで本校の教育活動へご支援ご協力いただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

私事ですが、定年のため3月末をもって退職いたします。卒業生とは3年間のお付き合いでした。ハラハラ、ドキドキする場面もありましたが、逆にいろいろな場面で活躍してくれたので、たくさん喜ばせてもらいました。退職の年にあたり、たくさんの思い出をくれた子どもたちに感謝の気持ちで一杯です。中学校では、小学校のことを思い出す暇がないくらい子どもたちが学習に部活動に充実した学校生活を送ってくれることを願っています。皆様、3年間お世話になりました。



### ～ 卒業生の皆さんへ ～

#### 「なりたい自分に近づくために何をすべきか！」

卒業に当たり、皆さんに上記のメッセージを贈ります。式辞の中でも紹介しましたが、これは、東京2020パラリンピック女子走り幅跳びで出場を決めた『中西麻耶(なかにし まや)』選手がいつも自分に問いかけている言葉です。

中西選手は、中学・高校とソフトテニス部で活躍していました。インターハイにも出場し高校卒業後は、国体出場を目指して練習に励んでいました。ところが、2006年に仕事場の工場で事故に遭い、右足の膝から下を切断します。現実を受け入れるのに時間がかかったそうですが、その後、パラ陸上をはじめ世界のトップレベルの高さに衝撃を受け、「なりたい自分に近づくために」本気になってトレーニングを始めます。2016年の日本パラ陸上競技選手権大会で5m51cmを跳び、女子走り幅跳びのアジア記録を樹立。2018年、アジアパラ競技大会で金メダルを獲得。2019年11月の世界パラ陸上競技大会で優勝し、東京パラリンピックの代表に選ばれました。

中西選手は、「世界のトップ選手になりたい」という目標を掲げ、努力を積み重ねてきました。何度もくじけそうになりながらもそこまで頑張った自分を振り返り、「次に何をすべきか」を考え、また努力を重ね世界トップのパラアスリートへと成長していったのです。

人生は、自分の思うように行かないことが多いです。でも、中西選手のように前向きに考え取り組むことが大切です。中学校、高校時代、「なりたい自分に近づくために何をすべきか！」という問いを持ち続けて、頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています。



【東京パラ大会金メダルを目指す中西選手】

